

CASBEE京都-新築(2015年版)
(仮称)京都二条油小路町ホテル計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル/CASBEE京都-新築(2015年版)
 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分		全体		
				評価点	重み係数		評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質							3.6	
Q1 室内環境							3.6	
1 音環境							3.5	
1.1 騒音							3.0	
1.2 遮音							5.0	
1 開口部遮音性能							5.0	
2 界壁遮音性能							3.0	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							3.0	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							3.0	
1.3 吸音							3.0	
2 温熱環境							3.1	
2.1 室温制御							3.2	
1 室温							3.0	
2 外皮性能							4.0	
3 ゾーン別制御性							3.0	
2.2 湿度制御							3.0	
2.3 空調方式							3.0	
3 光・視環境							4.2	
3.1 昼光利用							5.0	
1 昼光率							5.0	
2 方位別開口							-	
3 昼光利用設備							5.0	
3.2 グレア対策							4.0	
1 昼光制御							4.0	
3.3 照度							3.0	
3.4 照明制御							5.0	
4 空気質環境							3.6	
4.1 発生源対策							4.0	
1 化学汚染物質							4.0	
2 アスベスト対策							-	
4.2 換気							3.0	
1 換気量							3.0	
2 自然換気性能							5.0	
3 取り入れ外気への配慮							3.0	
4.3 運用管理							3.0	
1 CO ₂ の監視							5.0	
2 喫煙の制御							3.0	
Q2 サービス性能							3.3	
1 機能性							3.5	
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	
1 広さ・収納性							3.0	
2 高度情報通信設備対応							5.0	
3 バリアフリー計画							3.0	
1.2 心理性・快適性							3.0	
1 広さ感・景観							4.0	
2 リフレッシュスペース							3.0	
3 内装計画							3.0	
1.3 維持管理							3.5	
1 維持管理に配慮した設計							4.0	
2 維持管理用機能の確保							3.0	
3 衛生管理業務							-	
2 耐用性・信頼性							3.3	
2.1 耐震・免震							3.0	
1 耐震性							3.0	
2 免震・制振性能							3.0	
2.2 部品・部材の耐用年数							3.7	
1 躯体材料の耐用年数							3.0	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔							3.0	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							4.0	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔							3.0	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔							5.0	
6 主要設備機器の更新必要間隔							4.0	

2.4 信頼性					3.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備			※評価チェック項目参照	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3	電気設備			※評価チェック項目参照	5.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり							2.2	0.50	
1	階高のゆとり				3.0	-	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)	壁長さ比率: 0.19< 0.3	3.0	-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				2100N/m ² 以上	3.0	-	4.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.9
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)	二条城周辺地区: 旧市街地型美観地区	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮, 快適性の向上		●とも, 自然	A'(全国版準用)	※評価チェック項目参照	4.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制					3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		●自然	A(全国版準用)	※評価チェック項目参照	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		●自然	C(独自加点)		4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)				BEI=0.76	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)							-	-	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価					3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価							-	-	
4.1	モニタリング				3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制				3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水				水道直圧式、小水型便器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.9	0.60	-	-	3.9
2.1 材料使用量の削減		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				既存地下躯体を使用	5.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)	ビニル系床材、吸音材	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		●大切	A(全国版準用)	OAフロアの採用	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				防水工事材料、塗床	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					4.0	0.70	-	-	
1	消火剤			窒素消火	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			ODP=0、GWP=1	5.0	0.33	-	-	
3	冷媒				3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮				省エネ設計から二酸化炭素排出量低減に努める	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮					3.3	0.33	-	-	3.3
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					4.3	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減				-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制			※評価チェック項目参照	5.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			※評価チェック項目参照	5.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	
1	騒音				3.0	0.50	-	-	
2	振動				3.0	0.50	-	-	
3	悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制				-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●とも	B(推奨内容)		3.0	0.30	-	-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる